

## 長野市芸術文化振興基金助成金 実施報告書

団体名	えんげきで学ぶ研究所
事業名	あそぶ・えんげき・フェスタ

### 事業内容

コロナ禍の影響もあり、子連れで参加できるイベント、特に参加型・体験型の機会は少ない現状がある。子どもが主体的に参加できる舞台芸術関係のイベントを開催することで、子どもたちが様々な分野のパフォーミングアーツに触れる機会を創出する。

○日時：令和4年4月17日、8月28日、令和5年2月19日

○会場：権堂イーストプラザ及びR-DEPOT

- 内容：・子ども向け演劇創作体験ワークショップ  
 ・パントマイムと紙芝居のコラボユニット「にじいろ工場」の上演  
 ・コントユニット「きいろ」の上演  
 ・落語の上演

○目的・ねらい

- ・未経験のジャンルの文化芸術との出会い
- ・観劇と体験を合わせることで、多角的に文化芸術に触れる
- ・地域の活性化、交流

### 事業の成果

○のべ参加者…約120名

○参加者からの感想

- ・人見知りな娘が「やりたい」と言うので参加してみました。

はじめは緊張していたが、演劇創作の中で思い切りよく表現していた。

- ・演劇に苦手意識を持っていたが、「自分のアイデアを活かせる」ワークショップの形に楽しさを発見していた。

- ・なかなか見る機会のないパフォーマンスを1日で色々観れるのが良い
- ・県外演劇関係者が知人にも紹介したいと言っていた

### 実施状況



(写真説明1) 演劇創作体験ワークショップ 発表



(写真説明2) にじいろ工場 パフォーマンス  
パントマイムと紙芝居、バルーンアート



(写真説明3) コントユニット「きいろ」

## 今後の取り組み

イベントとして定着し始めており、文化芸術に親しむきっかけづくりとしては当初の目的を達成しつつある。

しかし、コロナ禍の影響もあり、開催日の確定、会場の確保が難しいケースもあり、告知のタイミングが遅れ、当初の集客見込みには及ばなかった。

今後は広報活動により力を入れるほか、開催場所に、市内の中山間地域など、より文化芸術にアクセスしやすいエリアへ出向き、文化芸術に触れる機会を創出を目指す。



(写真説明4) 落語